

エコアクション 21 環境活動レポート

(2017年06月01日～2018年5月31日)

2018年7月31日
徳山産業株式会社

CONTENTS

I. 事業活動の概要	1
II. 環境方針	2
III. 環境目標と環境活動計画	3.4
1. 環境目標とその実績	
2. 二酸化炭素排出量の実績	
3. 環境活動の取り組み計画と評価、及び次年度の取り組み内容	
IV. 環境関連法規制等の遵守状況	4
V. 代表者の全体評価と見直しの結果	4

I 事業活動の概要



概要

- 事業者名
徳山産業株式会社
- 代表者名
代表取締役 池田 恭二郎
- 住所及び連絡先
〒731-1504
広島県山県郡北広島町寺原 3687
電話番号 0826-72-2294
- 環境管理責任者
取締役工場長 梅田 忠文
- 事業内容
自動車用ゴム部品、及びその他工業用
ゴム製品の製造販売
- 設立
昭和42年12月

事業の規模

- 資本金 1,000万円
- 売上高 302百万円
(2017年6月1日～2018年5月31日)
- 従業員 37名
- 延べ床面積 985㎡

対象範囲

- 本社・工場

Ⅱ 環境方針

1. 基本理念

当社は企業の社会的責任を果たすため、製造業者として地球上に共存する自然や生命体の存続に悪影響を及ぼす全ての要素の排除を目的とした環境保全活動を、現在の業務に積極的に取り込み、全社あげてこれを推進していきます。

2. 行動指針

1. 環境法令、環境基準の遵守

国内の環境関連法令、顧客要求事項である国外の環境基準等を遵守します。

2. 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素の排出量の削減に努めます。

3. 環境配慮

地域環境に配慮した業務を推進します。

4. 廃棄物の削減

環境負荷物質をはじめとした廃棄物の削減に努めます。

5. 従業員への周知

課題を認識し、目標を定め、全従業員に当社の環境方針を周知徹底させます。

制定日：平成 30 年 1 月 1 日
代表取締役 池田恭二郎

Ⅲ 環境目標と環境活動計画

1. 環境目標とその実績

(1) 環境目標

項 目	2017 年度	2018 年度	2019 年度
電力使用量の削減 【基準(2010 年度)750,162kWh】	8%減 690,149kWh	9%減 682,727kWh	10%減 675,145kWh
産業廃棄物排出量の削減 【基準(2010 年度)121.5 m ³ 】	8%減 112 m ³	9%減 111 m ³	10%減 109 m ³
一般廃棄物の削減(排出袋の削減) 【基準(2014 年度)640 袋】	8%減 589 袋	9%減 582 袋	10%減 576 袋
グリーン購入の推進	事務用品のグリーン購入を推進する		
事業所周辺の清掃活動	2 回/年	2 回/年	2 回/年
(備考)			
1. 製品の脱脂用として使用しているトルエンなど少量の化学物質は、適切に管理していることを定期的に確認することとしています。			
2. 水(地下水)は、ほとんどが製造機械冷却水であり自らの判断で削減することが困難です。そのほか生活排水の節水も定着していることから、削減目標は設定せず、使用量の把握と節水の状況を確認・評価することとしています。			

(2) 2017 年度の環境目標の実績(2017 年 6 月～2018 年 5 月)

項 目	単 位	目 標 値	実 績	評 価
電力使用量の削減	kWh	690,149	703,519	×
産業廃棄物排出量の削減	m ³	112	75.0	○
一般廃棄物の削減(排出袋の削減)	袋	589	476	○
グリーン購入の推進	—	事務用品購入	購入中	○
事業所周辺の清掃活動	回/年	2	10	○

2. 二酸化炭素排出量の実績(単位: kg-CO₂)

電力の二酸化炭素排出係数	2015 年度	2016 年度	2017 年度
中国電力平成 21 年度実排出係数 0.628kg-CO ₂ /kWh	441,822	441,392	467,196

3.環境活動の取り組み計画と評価、及び次年度の取り組み内容

環境活動計画	取組結果と評価及び次年度の取組内容
<u>電力使用量の削減</u> <ul style="list-style-type: none"> ・工程ロスの削減 ・空調温度管理の徹底 ・不要照明の消灯 ・節電呼びかけの徹底 	<p>年間を通じて日々、左記の節電の呼びかけを継続実施している。消費量の削減として電力の三相のバランスを修正した。目標のクリアに至らなかった要因として、冬場の異常低温での電力消費が高んだ事、夏場での作業域の空調整備での電気消費増加などが起きた。</p> <p>今後も引き続き削減・節電の活動を継続し更なる改善を進めていきます。</p>
<u>産業廃棄物排出量の削減</u> <ul style="list-style-type: none"> ・不良率の低減 ・分別の徹底 ・指導管理の強化 	<p>最大要因の不良廃棄品の低減で、ショート（生地不足）対策として、成形の為の材料計量の精度UPの機械を導入した。これまでは、カット幅の一定化が望めず、不良多発の要因であった。精度UPの結果、全体のショート不良が減った。また、真空機械に入れられる様に、金型の改造も社内で手がけて不良削減に数点至った。</p> <p>ゴムコンテナへの廃棄処理（容器内を隙間がないように日々チェックする）管理を継続的に実施している。</p>
<u>一般廃棄物排出量の削減</u> <ul style="list-style-type: none"> ・両面コピーの徹底 ・裏紙使用の徹底呼び掛け 	<p>一般廃棄物の削減として、裏紙の使用を推進して、目標をクリアする結果が得られた。今後も継続して注意喚起をしていく。</p>
<u>グリーン購入の推進</u>	<p>事務用品は、殆どがグリーン製品になっているが、常に新しい製品が出ていないかのアンテナを張っている。そして、補充時にはグリーン購入の拡大を図っている。次年度も引き続きグリーン購入に努める。</p>
<u>事業所周辺の清掃活動</u>	<p>計画以上の活動回数を残せた。</p> <p>今後も継続的に実施する。</p>

IV 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制は廃棄物処理法及びフロン排出抑制法です。環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去にわたって関係当局より違反等の指摘や訴訟もありませんでした。

V 代表者の全体評価と見直しの結果

2017年度は、従業員の為に作業場の暑熱対策を鋭意進めてきた、その結果、電力使用量と二酸化炭素排出量は増加してしまっただ。その結果を当然の事と捕らえず、今後も管理・改善の意識のレベルを落とさないように努力する。産業廃棄物排出量削減や一般廃棄物の削減は今後も一層の知恵を絞って、低減結果を継続していきたい。

2017 : 8 : 23 地域の溝掃除



2017 : 7 : 14 地域の共有道の草刈

